

介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社 豊田ほっとかん)
 事業所名 (有料老人ホーム 豊田ほっとかん)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り介護ロボット aams	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9月1日	5台	令和元年 9月1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ◎事業概要 見守り介護ロボット aams を導入することにより、転倒・転落等の事故の予防を図るとともに、入居者の睡眠リズムや、心拍・呼吸の状態を把握できるため、異常時の早期発見に繋げる。また、職員の業務負担軽減や、効率化を図り、離職率の低下に繋げる。 ◎導入スケジュール 令和元年 7月申請 令和元年 9月導入			
【倫理面への配慮】 入居者本人及びご家族に対して、機器を使用する目的と効果についての説明を行う。また、取得した情報に関しては厳重に管理を行う。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の睡眠リズムを把握することにより、転倒・転落等の事故を防ぐ。 ・夜間の訪室を減らし、職員の業務の効率化を図り、肉体的・精神的なストレスを軽減させる。 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ◎入居者 <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドからの転倒・転落等の事故の予防。 ・睡眠リズムを把握し、内服薬の調整に繋げる。 ・入居者のご家族に対して状況報告時にデータを用いて説明を行うことができる。 ◎職員 <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の体調の変化がモニターにより確認できるため、迅速に対応ができる。 ・モニターにより入居者の身体情報が確認でき、必要以上の訪室をしなくてもよく、見守り業務に充てていた時間を他の業務に充てられるため、業務の効率化が期待できる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 八起社)

事業所名 (特別養護老人ホーム 東和荘)

サービス種別 (特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りベッド		見守りケアシステム M2		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
令和元年12月、1日	5台	令和元年12月 1日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】</p> <p>「見守りケアシステムM2」の導入により、見守り業務の補助、効率化を図り業務負担の軽減を図ります。また利用者様の生活リズムを把握する事で、個別ケアへの取り組みや転倒・転落防止に取り組んでいきます。</p> <p>【導入スケジュール】</p> <p>令和元年 11月 機器設置事前調査 令和元年 12月 機器導入 令和元年 12月 機器使用方法 説明会 実施 (平成31年3月デモ・試験使用実施済) 以降、各年度毎に使用状況を報告 適時、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施</p>				
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>使用対象の御利用者及び御家族に対し、見守りベッドの導入理由、機器の説明を行い、同意を得た上で使用を行います。御利用の際は、通常のベッドと同様に使用が可能となり、身体的・精神的拘束感を与えないことを御説明します。</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転倒・転落事故の減少 ②介護職員の身体的・心理的負担の軽減</p>				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①御利用者に対する転倒・転落事故の削減 ②認知症状のある御利用者へ不快感・拘束感を与えないための配慮 ③誤報の少ないセンサーを活用し、介護労力の削減を図り、介護負担やストレスの軽減 ④記録データを活用し、御利用者様の生活リズムを把握し、個別ケアの充実</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人葆光会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム藤美苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステム M2 (FBR-N135W1/M2) フランスベッド	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9 月 1 日	8	令和元年 9 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>当該助成金の採択後、速やかに諸手続きを経て導入を図り、使用対象者に対する説明を行った上で使用を開始します。</p> <p>令和元年 11 月 1 日導入日 (予定日) に本機器に携わる職員に対して使用に関する説明 (研修) 会を開催し速やかに本機器の使用開始を図ります。導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果の評価を行い必要に応じて関係職員と共に使用方法の見直しや検討を図っていきます。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>ご利用者及びご家族に対して導入する介護機器の説明を行い、同意を得たうえで使用します。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>見守り業務を効率化し介護職員の業務負担軽減すること また効率的かつ効果的な見守り業務を徹底し転倒転落に関する事故発生件数を導入前よりも減少させること。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>ご利用者のベッドからの転落リスクの軽減 介護職員の見守り業務の負担軽減 早朝や夜間等の人員の配置が減少する場合において介護職員のリスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減、安心して他の業務に当たれる職場環境の整備の実現。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 \ (社会福祉法人葆光会)

事業所名 (\ 藤美苑短期入所生活介護)

サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステム M2 (FBR-N135W1/M2) フランスベッド	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9 月 1 日	1	令和元年 9 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>当該助成金の採択後、速やかに諸手続きを経て導入を図り、使用対象者に対する説明を行った上で使用を開始します。</p> <p>令和元年 11 月 1 日導入日（予定日）に本機器に携わる職員に対して使用に関する説明（研修）会を開催し速やかに本機器の使用開始を図ります。導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果の評価を行い必要に応じて関係職員と共に使用方法の見直しや検討を図っていきます。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>ご利用者及びご家族に対して導入する介護機器の説明を行い、同意を得たうえで使用します。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <p>見守り業務を効率化し介護職員の業務負担軽減すること また効率的かつ効果的な見守り業務を徹底し転倒転落に関する事故発生件数を導入前よりも減少させること。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>ご利用者のベッドからの転落リスクの軽減 介護職員の見守り業務の負担軽減 早期や夜間等の人員の配置が減少する場いにおいて介護職員のリスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減、安心して他の業務に当たれる職場環境の整備の実現。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 華陽会)

事業所名 (榑養老人ホーム サービスネットワーク鶴)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守りケアシステムM2	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年9月 / 日	2台 /	令和1年9月 / 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要：転倒リスクの高い利用者様に活用することにより、個別に合わせた離床予防センサーをナースコールに連動させることで迅速な対応をすることで、転倒事故を防ぐ事に役立てる。特に、少ない人員で対応する夜間ではリスク軽減に大きな役割を果たすことが見込まれる。また、低床に設定できることで端坐位の安定を図ることができる。万一ベッドから転落したときでも身体にかかる衝撃を軽減することができる。</p> <p>導入スケジュール：令和1年9月 / 日 低床3モーターベッド2台購入 令和1年9月 / 日 運用スタート</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>通常のベッドと同等品として取り扱うことが可能であり、利用者様に対して身体的・精神的苦痛を与えることなく、プライバシーなど十分配慮したうえで、施設利用者様及び家族に説明を行い、了承を得たうえで対応する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>① 離床予防センサーにより、転倒・転落事故を軽減する。 ② 夜間帯の睡眠状態を把握し、健康管理や徘徊などのリスク軽減に役立てる。 ③ 夜勤職員の業務効率が上がり、業務量軽減に繋げる。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>① 離床センサーがナースコールに連動されることで迅速かつ正確に対応することができる。 ② 転倒リスクの高い方や夜間行動に課題のある方に活用することで介護事故の軽減や認知症の症状に対してのケアに役立てることができる。 ③ 生活リズムの把握により、個別ケアの充実を図る。 ④ 配置人員が減少する場面で職員の精神的、身体的ストレスの軽減を図る。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名（社会福祉法人和敬会）
 事業所名（特別養護老人ホームなごみの郷）
 サービス種別（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	3台	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ・事業概要 見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減すると共に、入居者の状況をリアルタイムで確認し、入居者の見守りの強化を図る。 ・導入スケジュール 補助金交付決定後、速やかに導入する。（令和元年9月導入予定）			
【倫理面への配慮】 入居者及び家族へ機能と使用目的の説明を行い、ご理解いただいた上で適切に使用する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処） 入居者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）の変化や呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで、見守り業務が見える化し、スタッフの安心感向上と業務効率化並びに入居者の夜間の睡眠を妨げることのない介護を提供する。また、転倒や転落等の事故防止や異常等の対応強化を図る。			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ・入居者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）を早期に把握できるため、転倒や転落等の事故防止の効果が期待できる。 ・入居者の睡眠を妨げることなく、介護サービスを提供することが期待できる。 ・心拍数や呼吸数、睡眠状態を把握できるため、夜間帯の介護スタッフの業務における、精神的・身体的負担の軽減が期待できる。			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人和敬会)
 事業所名 (なごみの郷ショートステイ)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9 月 1 日	1 台 /	令和元年 9 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ・事業概要 見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減すると共に、入居者の状況をリアルタイムで確認し、入居者の見守りの強化を図る。 ・導入スケジュール 補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和元年 9 月導入予定)			
【倫理面への配慮】 利用者及び家族へ機能と使用目的の説明を行い、ご理解いただいた上で適切に使用する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) 利用者の状態(睡眠・覚醒・起き上がり・離床)の変化や呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで、見守り業務が見える化し、スタッフの安心感向上と業務効率化並びに入居者の夜間の睡眠を妨げることのない介護を提供する。また、転倒や転落等の事故防止や異常等の対応強化を図る。			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ・利用者の状態(睡眠・覚醒・起き上がり・離床)を早期に把握できるため、転倒や転落等の事故防止の効果が期待できる。 ・利用者の睡眠を妨げることなく、介護サービスを提供することが期待できる。 ・心拍数や呼吸数、睡眠状態を把握できるため、夜間帯の介護スタッフの業務における、精神的・身体的負担の軽減が期待できる。			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人和敬会)
 事業所名 (グループホームなごみの郷)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	2台	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ・事業概要 見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減すると共に、入居者の状況をリアルタイムで確認し、入居者の見守りの強化を図る。 ・導入スケジュール 補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和元年9月導入予定)			
【倫理面への配慮】 入居者及び家族へ機能と使用目的の説明を行い、ご理解いただいた上で適切に使用する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) 入居者の状態(睡眠・覚醒・起き上がり・離床)の変化や呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで、見守り業務が見える化し、スタッフの安心感向上と業務効率化並びに入居者の夜間の睡眠を妨げることのない介護を提供する。また、転倒や転落等の事故防止や異常等の対応強化を図る。			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ・入居者の状態(睡眠・覚醒・起き上がり・離床)を早期に把握できるため、転倒や転落等の事故防止の効果が期待できる。 ・入居者の睡眠を妨げることなく、介護サービスを提供することが期待できる。 ・心拍数や呼吸数、睡眠状態を把握できるため、夜間帯の介護スタッフの業務における、精神的・身体的負担の軽減が期待できる。			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人ふたば福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームウィローふたば)

サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	2台	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 【事業概要】 当機器の導入することで、見守り業務を効率化することで職員の負担軽減を図る。 【導入スケジュール】 導入決定→業者との契約→令和元年9月機器納入→使用研修実施→使用状況検証→導入効果報告 (以降年度毎に使用状況報告)			
【倫理面への配慮】 機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明を行い、同意を得たうえで使用する。 取得した情報については厳重に管理する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) 利用者の居室での状態 (睡眠・覚醒・起き上がりなど) が把握しやすくなり利用者の状態に合わせた見守りが可能になることで、職員の心身の負担が軽減でき利用者が安心して過ごしていただけることを目標とする。			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの把握により睡眠の質向上 ・看取り期の入所者へのより迅速な対応 (他職員や家族への連絡等) ・職員の夜間業務における心身の負担軽減 ・職員の心身の負担軽減を図ることで、離職率の低減及び採用への効果 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人エール西尾)

事業所名 (特別養護老人ホーム三和の里)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	3 セット	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

- ・当該機器の導入により、ご入所者の睡眠リズムの把握、及び見守り業務の効率化と介護職員の心理的、身体的負担の軽減を図る。
- ・得られたデータをご入所者家族へ情報提供し、施設生活の安心感や透明性を高める。

導入スケジュール

- ・令和1年6月に申請、承認後9月に導入予定。当施設では既に当該機器を設置、使用しているが導入時には改めて勉強会等を開催し、スムーズな導入に繋げる。

【倫理面への配慮】

- ・ご入所者またはご家族に使用目的を説明し、同意を得た上で使用する。また得られたデータについては厳重に管理する。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・見守り業務の効率化と介護職員の心理的、身体的負担の軽減を図る。
- ・ベッド上での状態の把握に努め、転倒転落などのリスクを軽減させる。
- ・当該機器を活用し、状態の変化を把握することで看取り介護の充実を目指す。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・転倒、転落リスクの軽減
- ・介護職員の心理的及び身体的負担の軽減
- ・看取り期の体調変化の早期発見と迅速な対応
- ・睡眠状態の把握による個別ケアの充実

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人エール西尾)

事業所名 (小規模多機能ホーム三和の里)

サービス種別 (小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	1 セット	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該機器の導入により、ご利用者の睡眠リズムの把握、及び見守り業務の効率化と介護職員の心理的、身体的負担の軽減を図る。 得られたデータをご利用者家族へ情報提供し、施設生活の安心感や透明性を高める。 <p>導入スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和1年6月に申請、承認後9月に導入予定。当施設では既に当該機器を設置、使用しているが導入時には改めて勉強会等を開催し、スムーズな導入に繋げる。 			
<p>【倫理面への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ご利用者またはご家族に使用目的を説明し、同意を得た上で使用する。また得られたデータについては厳重に管理する。 			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見守り業務の効率化と介護職員の心理的、身体的負担の軽減を図る。 ベッド上での状態の把握に努め、転倒転落などのリスクを軽減させる。 睡眠状態を把握することで、最適なタイミングでの訪室、トイレ誘導が可能となる。 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 転倒、転落リスクの軽減 介護職員の心理的及び身体的負担の軽減 得られたデータをご利用者家族に提供し、安定した在宅生活を送れるよう支援する。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人弥富福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム輪中の郷)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズ (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9月1日	8	令和元年 9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 【事業概要】 離床 CATCHⅢ搭載電動ベッド「エスパシアシリーズ」を導入し、夜間帯を中心にご利用者の転落・転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。 【導入スケジュール】 令和元年6月申請 令和元年9月導入予定			
【倫理面への配慮】 当製品を使用するご利用者やご家族に、十分な説明と同意を頂いた上で運用を開始する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ご利用者の転落・転倒事故の減少。介護職員の身体的・精神的負担の軽減。			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ご利用者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、正確なナースコール報知が可能となるため、転落・転倒事故の減少が期待される。また、夜間等の職員配置数が少ない場合など、必要時にナースコールが報知するため、介護職員の身体的・精神的負担軽減にも繋がる。			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人弥富福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム輪中の郷)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズ (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9月1日	3	令和元年 9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 【事業概要】 離床 CATCHⅢ搭載電動ベッド「エスパシアシリーズ」を導入し、夜間帯を中心にご利用者の転落・転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。 【導入スケジュール】 令和元年6月申請 令和元年9月導入予定			
【倫理面への配慮】 当製品を使用するご利用者やご家族に、十分な説明と同意を頂いた上で運用を開始する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ご利用者の転落・転倒事故の減少。介護職員の身体的・精神的負担の軽減。			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ご利用者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、正確なナースコール報知が可能となるため、転落・転倒事故の減少が期待される。また、夜間等の職員配置数が少ない場合など、必要時にナースコールが報知するため、介護職員の身体的・精神的負担軽減にも繋がる。			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人等生会)

事業所名 (特別養護老人ホームかくれんぼ)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 （パラマウントベッド株式会社）	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	3台	令和元年9月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要：「眠りSCAN」を導入することにより、介護職員の見守り業務の負担の軽減を図っていきます。特に利用開始時の利用者様の情報収集が十分でない場合の夜間の睡眠状態を把握できることで、夜勤者の精神的な業務負担の軽減を図っていきます。</p> <p>導入スケジュール：交付決定後に発注・導入を行う。導入にあたり8月下旬に職員に機器使用の説明会を開催します。導入後はケア委員会において効果や使用方法の検討を定期的に行っていきます。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入居者様には「眠りSCAN」システムの使用についての、効果や使用目的についての説明を事前に行ない同意の上使用します。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症などの為生活リズムが不安定な方や、夜間不眠傾向の強い入居者様への活用により、睡眠状態を把握し適切な見守り・排泄ケアを提供し、夜間の無駄な居室訪問を減らし夜勤者の業務負担の軽減を図ります。（特に精神的なストレス軽減を図ります） ・転倒・転落リスクの高い入居者様への活用により夜勤中のベットからの離床時の事故のリスクを減らし、事故件数の減少を目指します。 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の睡眠状態の把握により、より安眠を保てる排泄ケアの提供を行う。 ・入居者様の転倒や転落のリスクを軽減する。 ・訪室回数を減らせることにより、夜勤者の介護負担の軽減を図る。 ・睡眠のデータの集積により、入居者様の情報収集に努めてケア方法の改善に繋げていく。 ・家族様への睡眠状態の報告によりケア内容の改善につながる情報の提供を行う。 ・看取り期に活用する事により、職員の心的なストレスの軽減につながる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人等生会)
 事業所名 (ショートステイかくれんぼ)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	1台	令和元年9月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要：「眠りSCAN」を導入することにより、介護職員の見守り業務の負担の軽減を図っていきます。特に利用開始時の利用者様の情報収集が十分でない場合の夜間の睡眠状態を把握できることで、夜勤者の精神的な業務負担の軽減を図っていきます。</p> <p>導入スケジュール：交付決定後に発注・導入を行う。導入にあたり8月下旬に職員に機器使用の説明会を開催します。導入後はケア委員会において効果や使用方法の検討を定期的に行っていく。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>利用契約時に「眠りSCAN」システムの使用についての、効果や使用目的についての説明を行ない、使用する可能性がある事を説明し、同意の上使用します。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の少ない新規の利用者様や転倒リスクの高い利用者様への活用を行うことにより、職員の業務負担特に精神的な負担を減らしていく。 ・夜勤中のベットからの離床時の転倒・転落のリスクを減らし、事故件数の減少を図る。 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の睡眠状態の把握により、より安眠を保てる排泄ケアの提供を行う。 ・利用者様の転倒や転落のリスクを軽減する。 ・訪室回数を減らせることにより、夜勤者の介護負担の軽減を図る。 ・睡眠のデータの集積により、利用者様の情報収集に努めてケア方法の改善に繋げていく。 ・家族様・担当ケアマネージャーへの睡眠状態の報告により在宅生活のケア内容の改善につながる情報の提供を行う。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 あぐりす実の会)
 事業所名 (高齢者福祉施設 大地の丘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りシステム Neos+Care	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 11月 30日	10	令和元年 11月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>○ 【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要 被介護者の転倒・転落の予兆動作を検知することで、早いタイミングでの介助を行う事ができると共に見守り業務補助の効率化を図り、業務負担の軽減を図ります。</p> <p>導入スケジュール 令和元年 9月に機器設置環境調査を実施 10月に機器取扱説明会を実施 11月に機械導入を行う</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入居者様及びご家族様に導入する機器の説明を行い、同意を得たうえで使用する。</p>			
<p>○ 【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り介護業務の効率化を図り、介護職員の労務負担の軽減を目標とする。 ・見守りシステムを効率的に使用することにより転落事故等の発生を減らし、利用者や家族に安心を提供し、介護サービスの向上を目標とする。 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険動作の予兆が検知できるようになる。 ・転落事故のリスク軽減ができるようになる。 ・転倒、転落予兆を検知することで、早く介助できる。 ・介護職員の労務負担軽減により職場環境が改善される。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 あぐりす実の会)
 事業所名 (高齢者福祉施設 大地の丘)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りシステム Neos+Care	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 11 月 30 日	1	令和元年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>○ 【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要 被介護者の転倒・転落の予兆動作を検知することで、早いタイミングでの介助を行う事ができると共に見守り業務補助の効率化を図り、業務負担の軽減を図ります。</p> <p>導入スケジュール 令和元年 9月に機器設置環境調査を実施 10月に機器取扱説明会を実施 11月に機械導入を行う</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入居者様及びご家族様に導入する機器の説明を行い、同意を得たうえで使用する。</p>			
<p>○ 【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り介護業務の効率化を図り、介護職員の労務負担の軽減を目標とする。 ・見守りシステムを効率的に使用することにより転落事故等の発生を減らし、利用者や家族に安心を提供し、介護サービスの向上を目標とする。 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険動作の予兆が検知できるようになる。 ・転落事故のリスク軽減ができるようになる。 ・転倒、転落予兆を検知することで、早く介助できる。 ・介護職員の労務負担軽減により職場環境が改善される。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム 瀬戸苑)
 サービス種別 (特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		エスパシア (パラマウントベッド)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2019年9月30日	9台	2019年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>ベッドに内蔵された離床 CATCHIIIを使用して、利用者様の動向に合わせた起き上がりや離床の動作を把握して、利用者様の夜間の状態把握や見守り業務の効率化を図ります。</p> <p>導入スケジュール 令和元年6月 補助金申請 令和元年10月 ベッド導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>ベッド使用時に、利用者様及びご家族へシステム等の説明をする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転倒及び転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①利用者様の日常の動作に合わせた設定をすることで、起き上がりや離床などより正確なナースコール設定が可能となり、転落や転倒事故が減少する。 ②利用者様が必要とする時に(起き上がりや離床時)にナースコールとして作動するため、介護職員の見守り等の心理的負担を減少させることが出来る。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム 豊川苑)

サービス種別 (特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		エスパシア (パラマウントベッド)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2019年9月30日	10台	2019年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>ベッドに内蔵された離床 CATCHⅢを使用して、利用者様の動向に合わせた起き上がりや離床の動作を把握して、利用者様の夜間の状態把握や見守り業務の効率化を図ります。</p> <p>導入スケジュール 令和元年6月 補助金申請 令和元年10月 ベッド導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>ベッドを使用される際に、利用者様及びご家族へシステム等の説明をする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転倒及び転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①利用者様の日常の動作に合わせた設定をすることで、起き上がりや離床などより正確なナースコール設定が可能となり、転落や転倒事故が減少する。 ②利用者様が必要とする時に(起き上がりや離床時)にナースコールとして作動するため、介護職員の見守り等の心理的負担を減少させることが出来る。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム 西尾苑)
 サービス種別 (特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		エスパシア (パラマウントベッド)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2019年9月30日	5台	2019年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>ベッドに内蔵された離床 CATCHIIIを使用して、利用者様の動向に合わせた起き上がりや離床の動作を把握して、利用者様の夜間の状態把握や見守り業務の効率化を図ります。</p> <p>導入スケジュール 令和元年6月 補助金申請 令和元年10月 ベッド導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>ベッド使用時に、利用者様及びご家族へシステム等の説明をする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転倒及び転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①利用者様の日常の動作に合わせた設定をすることで、起き上がりや離床などより正確なナースコール設定が可能となり、転落や転倒事故が減少する。 ②利用者様が必要とする時に(起き上がりや離床時)にナースコールとして作動するため、介護職員の見守り等の心理的負担を減少させることが出来る。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム 佐屋苑)

サービス種別 (特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		エスパシア (パラマウントベッド)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2019年9月30日	2台	2019年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>ベッドに内蔵された離床 CATCHIIIを使用して、利用者様の動向に合わせた起き上がりや離床の動作を把握して、利用者様の夜間の状態把握や見守り業務の効率化を図ります。</p> <p>導入スケジュール 令和元年6月 補助金申請 令和元年10月 ベッド導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>ベッド使用時に、利用者様及びご家族へシステム等の説明する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①利用者様の日常の動作に合わせた設定をすることで、起き上がりや離床などより正確なナースコール設定が可能となる。転落や転倒事故が減少する。 ②利用者様が必要とするときに(起き上がりや離床時)にナースコールとして作動するため、介護職員の見守り等の心理的負担を減少させることが出来る。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 一期一会福祉会)
 事業所名 (岩倉一期一会荘花むすび)
 サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		高齢者見守りシステム「見守りライフ」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9 月 2 日	8	令和元年 9 月 2 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ■事業概要 「見守りライフ」の導入により、ご入居者の動き（動き出し・起き上がり・端座位など）をいち早く把握できるため、早めの介助が可能となり、転倒・転落リスクを軽減します。 ■導入スケジュール 令和元年 6 月 交付申請 令和元年 9 月 機器購入及び操作説明 運用開始			
【倫理面への配慮】 ① 使用前に、ご入居者及びご家族に対して使用目的を説明し、同意を得た上で使用を開始 ② 介護ベッドの脚にセンサを設置するため、ご入居者に対して身体拘束・精神的な苦痛を与えることはない			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ① 転倒・転落事故の軽減 ② ご入居者への介護の質向上 ③ 介護職員の精神的・身体的負担軽減			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ① 転倒、転落によるケガを防止 ② ご入居者及びご家族に安心・安全をご提供 ③ 放尿回数が多いご入居者にいち早く介助を行い、放尿を防止 ④ 職員の精神的、身体的ストレスの軽減			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)
 事業所名 (明範荘特別養護老人ホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年9月1日	11台	令和1年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

当該助成金採択後に速やかに諸手続きを経た上で、当該施設への導入を図ります。また同時に使用対象者、ならびにそのご家族への説明を行った上で、速やかに使用を開始します。

令和1年9月1日導入(予定)日に、本機器の使用に関わる職員に対して、改めて使用に関する説明を行い、即日中に本機器の使用を開始します。

また導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果等の評価を行い、必要に応じて使用に関わる職員と使用方法の見直しや検討を図ります。

【倫理面への配慮】

当該施設ではすでに本機器の導入を行っているため、説明は逐一行っておりますが、本年度もご家族が集まれる場面(家族会)等で使用の方法や使用した成果等について報告を行います。

対象者個々に対しては、ケアカンファレンス等で本機器を使用することや、使用した結果、使用することで得られたデータに基づいたケアの展開方法等を丁寧に説明いたします。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・対象者の動作の状態(覚醒・睡眠・起居・離床、心拍数等)を、ICT機器にリアルタイムで転送されたデータをもとに、今まで以上に対象者の詳細な生活リズムや身体状況の把握に努め、それによって職員の業務負担軽減や対象者の転倒転落のリスク軽減につなげる。
- ・看取り期に入った対象者への活用を推進し、当該期の対象者の家族への適切な情報提供や、刻一刻と変化する当該期の適切なケア方法の展開や看取り期のケアの質の向上につなげる。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・対象者のベッドからの転落リスクのマネジメント。
- ・詳細な睡眠リスクの把握等による個別ケアの充実。
- ・職員の見守り業務の負担軽減。
- ・早朝や夜間等の配置人員が減少する時間帯における、職員の精神的、身体的ストレスの軽減。
- ・対象者家族に対するより詳細な生活データの開示。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)
 事業所名 (明範荘短期入所生活介護)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年9月1日	1台	令和1年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

当該助成金採択後に速やかに諸手続きを経た上で、当該施設への導入を図ります。また同時に使用対象者、ならびにそのご家族への説明を行った上で、速やかに使用を開始します。

令和1年9月1日導入(予定)日に、本機器の使用に関わる職員に対して、改めて使用に関する説明を行い、即日中に本機器の使用を開始します。

また導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果等の評価を行い、必要に応じて使用に関わる職員と使用方法の見直しや検討を図ります。

【倫理面への配慮】

在宅での生活リズムが不安定な方に対しては、対象者、またはそのご家族に本機器の使用の提案を事前に行い、使用後に得られたデータ、そのデータに基づいたケアの展開方法等を丁寧に説明いたします。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・対象者の動作の状態(覚醒・睡眠・起居・離床、心拍数等)を、ICT機器にリアルタイムで転送されたデータをもとに、今まで以上に対象者の詳細な生活リズムや身体状況の把握に努め、それによって職員の業務負担軽減や対象者の転倒転落のリスク軽減につなげる。
- ・身体的、精神的状態が不安定な対象者への活用を推進して、当該対象者の家族への適切な情報提供や、日々変化する当該対象者に対する適切なケア方法の展開やケアの質の向上につなげる。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・対象者のベッドからの転落リスクのマネジメント。
- ・詳細な睡眠リスクの把握等による個別ケアの充実。
- ・職員の見守り業務の負担軽減。
- ・早朝や夜間等の配置人員が減少する時間帯における職員の精神的、身体的ストレスの軽減。
- ・対象者家族に対するより詳細な生活データの開示。
- ・睡眠・覚醒のデータ提供を介護者に行うことによる在宅生活の質の改善の提案。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム川名山荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年9月1日	8台	令和1年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

当該助成金採択後に速やかに諸手続きを経た上で、当該施設への導入を図ります。また同時に使用対象者、ならびにそのご家族への説明を行った上で、速やかに使用を開始します。

令和1年9月1日導入(予定)日に、本機器の使用に関わる職員に対して、改めて使用に関する説明を行い、即日中に本機器の使用を開始します。

また導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果等の評価を行い、必要に応じて使用に関わる職員と使用方法の見直しや検討を図ります。

【倫理面への配慮】

当該施設ではすでに本機器の導入を行っているため、説明は逐一行っておりますが、本年度もご家族が集まれる場面(家族会)等で使用の方法や使用した成果等について報告を行います。

対象者個々に対しては、ケアカンファレンス等で本機器を使用することや、使用した結果、使用することで得られたデータに基づいたケアの展開方法等を丁寧に説明いたします。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・対象者の動作の状態(覚醒・睡眠・起居・離床、心拍数等)を、ICT機器にリアルタイムで転送されたデータをもとに、今まで以上に対象者の詳細な生活リズムや身体状況の把握に努め、それによって職員の業務負担軽減や対象者の転倒転落のリスク軽減につなげる。
- ・看取り期に入った対象者への活用を推進し、当該期の対象者の家族への適切な情報提供や、刻一刻と変化する当該期の適切なケア方法の展開や看取り期のケアの質の向上につなげる。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・対象者のベッドからの転落リスクのマネジメント。
- ・詳細な睡眠リスクの把握等による個別ケアの充実。
- ・職員の見守り業務の負担軽減。
- ・早朝や夜間等の配置人員が減少する時間帯における、職員の精神的、身体的ストレスの軽減。
- ・対象者家族に対するより詳細な生活データの開示。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)

事業所名 (ショートステイ川名山荘)

サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年9月1日	1台	令和1年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

当該助成金採択後に速やかに諸手続きを経た上で、当該施設への導入を図ります。また同時に使用対象者、ならびにそのご家族への説明を行った上で、速やかに使用を開始します。

令和1年9月1日導入(予定)日に、本機器の使用に関わる職員に対して、改めて使用に関する説明を行い、即日中に本機器の使用を開始します。

また導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果等の評価を行い、必要に応じて使用に関わる職員と使用方法の見直しや検討を図ります。

【倫理面への配慮】

在宅での生活リズムが不安定な方に対しては、対象者、またはそのご家族に本機器の使用の提案を事前に行い、使用後に得られたデータ、そのデータに基づいたケアの展開方法等を丁寧に説明いたします。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・対象者の動作の状態(覚醒・睡眠・起居・離床、心拍数等)を、ICT機器にリアルタイムで転送されたデータをもとに、今まで以上に対象者の詳細な生活リズムや身体状況の把握に努め、それによって職員の業務負担軽減や対象者の転倒転落のリスク軽減につなげる。
- ・身体的、精神的状態が不安定な対象者への活用を推進して、当該対象者の家族への適切な情報提供や、日々変化する当該対象者に対する適切なケア方法の展開やケアの質の向上につなげる。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・対象者のベッドからの転落リスクのマネジメント。
- ・詳細な睡眠リスクの把握等による個別ケアの充実。
- ・職員の見守り業務の負担軽減。
- ・早朝や夜間等の配置人員が減少する時間帯における職員の精神的、身体的ストレスの軽減。
- ・対象者家族に対するより詳細な生活データの開示。
- ・睡眠・覚醒のデータ提供を介護者に行うことによる在宅生活の質の改善の提案。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)
 事業所名 (明範荘養護老人ホーム)
 サービス種別 (特定入居者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年9月1日	11台	令和1年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

当該助成金採択後に速やかに諸手続きを経た上で、当該施設への導入を図ります。また同時に使用対象者、ならびにそのご家族への説明を行った上で、速やかに使用を開始します。

令和1年9月1日導入(予定)日に、本機器の使用に関わる職員に対して、改めて使用に関する説明を行い、即日中に本機器の使用を開始します。

また導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果等の評価を行い、必要に応じて使用に関わる職員と使用方法の見直しや検討を図ります。

【倫理面への配慮】

当施設ではすでに本機器の導入を行っているため、説明は逐一行っておりますが、本年度もご家族が集まれる場面(家族会)等で使用の方法や使用した成果等について報告を行います。

対象者個々に対しては、ケアカンファレンス等で本機器を使用することや、使用した結果、使用することで得られたデータに基づいたケアの展開方法等を丁寧に説明いたします。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】(3年間目処)

- ・対象者の動作の状態(覚醒・睡眠・起居・離床、心拍数等)を、ICT機器にリアルタイムで転送されたデータをもとに、今まで以上に対象者の詳細な生活リズムや身体状況の把握に努め、それによって職員の業務負担軽減や対象者の転倒転落のリスク軽減につなげる。
- ・身体的、精神的状態が不安定な対象者への活用を推進して、当該対象者の家族への適切な情報提供や、日々変化する当該対象者に対する適切なケア方法の展開やケアの質の向上につなげる。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・対象者のベッドからの転落リスクのマネジメント。
- ・詳細な睡眠リスクの把握等による個別ケアの充実。
- ・職員の見守り業務の負担軽減。
- ・早朝や夜間等の配置人員が減少する時間帯における、職員の精神的、身体的ストレスの軽減。
- ・対象者家族に対するより詳細な生活データの開示。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 - (社会福祉法人碧晴会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム川口結いの家)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		パラマウントベット社 エスパシアシリーズベッド (KA-N1480F)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 12 月 1 日	10 台	令和元年 9 月 1 日 10	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 <p>ベッド老朽化に伴う更新に合わせ、ベッド内蔵型離床センサー離床 CATCHⅢを掲載した「エスパシアシリーズベッド (KA-N1480F)」を導入し、特に夜間帯の入居者様の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>令和元年 6 月 申請 令和元年 9 月 ベッド搬入 (予定) 令和元年 12 月 ナースコールシステム更新後中継ボックス納入 →介護ロボット導入完了 (予定)</p>			
【倫理面への配慮】 <p>入居者様及びご家族様に対し、システムの使用目的について説明を行い、同意を得た上で導入します。</p>			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) <p>(1) 転倒転落事故の減少。 (2) 介護職員の身体的・心理的負担の軽減。</p>			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 <p>(1) 入居者様のベッドからの転倒リスクの軽減。 (2) 特夜間帯での見守り業務の効率化による介護職員の精神的・身体的負担の軽減。 (3) ベッドに内蔵された荷重センサーにより正確な検知が期待され、センサー誤報による駆けつけが減少。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知玉葉会)

事業所 (特別養護老人ホーム第二尾張荘)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		エスパシアシリーズ KA-N1470R	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 10 月 1 日	14	令和元年 10 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

ベッド内蔵型離床センサー離床 CATCHIII搭載の電動ベッド エスパシアシリーズの導入により、夜間帯の利用者の転倒・転落事故防止と介護職員の見守り業務の心理的負担の軽減と業務の効率化を図ります。

導入スケジュール

令和元年 6 月 申請

令和元年 10 月 導入(予定)

【倫理面への配慮】

当該製品を使用する利用者とその家族に対しての事前説明を行い同意を頂きます。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

利用者の転倒・転落事故の減少と介護職員の身体的・精神的負担の軽減

【介護ロボット導入により期待される効果等】

当該製品は利用者の状態に合わせたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)が可能な為、利用者ごとの適正なタイミングでの駆け付け、訪室が可能となり、転倒・転落事故のリスク軽減に繋がる事が期待されます。また、センサー誤報による駆け付けが減る事により介護職員の身体的・精神負担軽減にも繋がるのではと期待します。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知玉葉会)
 事業所 (第二尾張荘短期入所生活介護)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		エスパシアシリーズ KA-N1470R	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年10月1日	2	令和元年10月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

ベッド内蔵型離床センサー離床 CATCHIII搭載の電動ベッド エスパシアシリーズの導入により、夜間帯の利用者の転倒・転落事故の防止と介護職員の見守り業務の心理的負担の軽減と業務の効率化を図ります。

導入スケジュール

令和元年6月申請
 令和元年10月導入(予定)

【倫理面への配慮】

当該製品を使用する利用者とその家族に対しての事前説明を行い同意を頂きます。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

利用者の転倒・転落事故の減少と介護職員の身体的・精神的負担の軽減

【介護ロボット導入により期待される効果等】

当該製品は利用者の状態に合わせたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)が可能な為、利用者ごとの適正なタイミングでの駆け付け、訪室が可能となり、転倒・転落事故のリスク軽減に繋がる事が期待されます。また、センサー誤報による駆け付けが減る事により介護職員の身体的・精神負担軽減にも繋がるのではと期待します。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人カリヨン福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームカリヨンの郷)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステムM2	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	6台	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 特別養護老人ホーム利用者の生活の質を確保するため、様々な介護サービスを提供すべく、見守り業務の補助及び効率化を図ることで入所者及び職員の負担軽減を図る。 令和元年7月 機器設置事前調査 " 9月 機器導入、機器使用法説明会実施 導入～令和2年3月 評価及び改善			
【倫理面への配慮】 通常のベッドと同等品として取り扱うことが可能であり、利用者に対して身体的・精神的苦痛を与えることなく、プライバシーなど十分考慮したうえで、施設利用者及び家族に説明を行い、了承を得たうえで対応する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ① 転倒及び転落事故の減少 ② センサー誤報による職員駆けつけ回数の減少			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ① 施設利用者の転倒及び転落事故削減、並びに安心感の向上。 ② 駆けつけ回数減少に伴う職員の身体的負担軽減並びに処遇改善。 ③ リクルート効果 当施設ではこれまで様々な介護ロボットを活用して、職員の業務負担を軽減し、かつ利用者へのサービス提供に役立っている。他施設との差別化を図ることで離職率の低減効果が期待される。			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 勅使会)
 事業所名 (第二勅使苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		高齢者見守りシステム 見守りライフ	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	6	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

事業概要

- ・主に夜間帯での入居者様の状況把握を行う事を目的とし、転倒や転落事故を防ぐ。又、ロボット導入により職員の介護負担、精神的不安の軽減を図る。

導入スケジュール

- ・平成31年2月12日から3か月間デモ機を使用していたため、導入後スムーズに使用が可能となっている。
- ・9月より運用開始予定。設置後業者より再度説明会を行う。
- ・運用後は対象の入居者様について、定期的に評価、検討を行っていく。

【倫理面への配慮】

- ・入居者様やご家族様に対し、使用目的や効果を説明し同意を得た上で使用する。これに関する情報については厳重に管理する。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・居室内での転倒、転落事故件数をゼロに近づける。
- ・介護業務負担軽減に伴う、職員の身体的、精神的負担の減少

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・転倒リスクがある方の起き上がり、寝返りがしっかりと把握でき、夜間帯にはユニット間の移動を最小限にすることができる。
- ・ベッド上の動きが把握できることにより、センサーの反応する前に対応することが可能になる。
- ・転倒事故の減少、見守りに関する負担が軽減されることにより、職員が安心して夜勤業務やその他業務に従事することができる。
- ・業務の効率化、待遇の向上に期待する。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 王寿會)
 事業所名 (グループホームあおぞら)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウント株式会社製)		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
令和元年 9 月 30 日	2 台	令和元年 9 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで	
【事業概要及び導入スケジュール】				
<ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・令和元年 9 月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで令和元年 9 月 30 日より使用開始を図る。 				
【倫理面への配慮】				
<ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に、使用する経緯・使用する介護機器の説明を行い同意をして頂いてから使用を行う。 				
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)				
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況(睡眠・覚醒・起居・離床等)の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。転倒・転落の事故リスクの軽減に繋げる。 ・看取りケア時のバイタル把握を迅速に行い、ご家族様への情報連絡へ繋げる。 				
【介護ロボット導入により期待される効果等】				
<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠・覚醒のリズムを把握することによる、個別ケアの充実。 ・入居者様の転倒・転落のリスク軽減。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 ・看取り期の早期バイタル把握(レベル低下や呼吸停止等) 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 王寿會)

事業所名 (特別養護老人ホーム幸王寿園)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウント株式会社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9 月 30 日	3 台	令和元年 9 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
<ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・令和元年 9 月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで令和元年 9 月 30 日より使用開始を図る。 			
【倫理面への配慮】			
<ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に、使用する経緯・使用する介護機器の説明を行い同意をして頂いてから使用を行う。 			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況(睡眠・覚醒・起居・離床等)の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。転倒・転落の事故リスクの軽減に繋げる。 ・看取りケア時のバイタル把握を迅速に行い、ご家族様への情報連絡へ繋げる。 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠・覚醒のリズムを把握することによる、個別ケアの充実。 ・入居者様の転倒・転落のリスク軽減。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 ・看取り期の早期バイタル把握(レベル低下や呼吸停止等) 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人昌明福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム港寿楽苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		エスパシア (離床センサーCATCHⅢ搭載ベッド) パラマウント株式会社製	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年10月1日	6台	令和元年10月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 <ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・令和元年10月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで令和元年10月中に使用開始を図る。 			
【倫理面への配慮】 <ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に使用する経緯・使用する介護機器の説明を行いご同意を頂いてから使用する。 			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) <ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況(起き上がり、端座位、離床、見守り)の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。転倒・転落の事故リスクの軽減に繋げる。 ・生活リズムを把握することで、職員の心理的負担を軽減し、ゆとりを持ち介護を行う。 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・起き上がり、端座位、離床、見守りなど通知の設定が変えられるので、個別ケアも充実。 ・入居者様の転倒・転落のリスク軽減。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人昌明福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム港寿楽苑)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		エスパシア (離床センサー CATCHⅢ搭載ベッド) パラマウント株式会社製	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 10 月 1 日	1 台	令和元年 10 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 <ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・令和元年 10 月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで令和元年 10 月中に使用開始を図る。 			
【倫理面への配慮】 <ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に使用する経緯・使用する介護機器の説明を行いご同意を頂いてから使用する。 			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3 年間目処) <ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況 (起き上がり、端座位、離床、見守り) の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。転倒・転落の事故リスクの軽減に繋げる。 ・生活リズムを把握することで、職員の心理的負担を軽減し、ゆとりを持ち介護を行う。 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・起き上がり、端座位、離床、見守りなど通知の設定が変えられるので、個別ケアも充実。 ・入居者様の転倒・転落のリスク軽減。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 昌明福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 第Ⅱ港寿楽苑)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		眠りSCAN NN-1310	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月30日	3台	令和元年9月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 <ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・令和元年9月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで令和元年9月中に使用開始を図る。 			
【倫理面への配慮】 <ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に使用する経緯・使用する介護機器の説明を行いご同意を頂いてから使用する。 			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) <ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況(睡眠の詳細な時間、呼吸の状況)の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。 ・夜間就寝後の入室回数を減らし、良質な睡眠の確保、プライバシーの確保が可能となる。 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・現状の把握が居室に入らなくても可能な場面ができる。 ・睡眠の把握により昼夜逆転などの状況が具体的に把握でき、介護計画に反映できる ・日中から夜間にかけて生活の状況が把握できる。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人昌明福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム第Ⅱ港寿楽苑)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		眠りSCAN NN-1310	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月30日	1台	令和元年9月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 <ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・令和元年9月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで令和元年9月中に使用開始を図る。 			
【倫理面への配慮】 <ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に使用する経緯・使用する介護機器の説明を行いご同意を頂いてから使用する。 			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) <ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況(睡眠の詳細な時間、呼吸の状況)の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。 ・夜間就寝後の入室回数を減らし、良質な睡眠の確保、プライバシーの確保が可能となる。 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・現状の把握が居室に入らなくても可能な場面ができる。 ・睡眠の把握により昼夜逆転などの状況が具体的に把握でき、介護計画に反映できる ・日中から夜間にかけて生活の状況が把握できる。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人昌明福社会)
 事業所名 (小規模多機能型居宅介護結)
 サービス種別 (小規模多機能型居宅介護施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		エスパシア (離床センサーCATCHⅢ搭載ベッド) パラマウント株式会社製	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 10 月 1 日	1 台	令和元年 10 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 <ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・令和元年 10 月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで令和元年 10 月中に使用開始を図る。 			
【倫理面への配慮】 <ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に使用する経緯・使用する介護機器の説明を行いご同意を頂いてから使用する。 			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3 年間目処) <ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況 (起き上がり、端座位、離床、見守り) の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。転倒・転落の事故リスクの軽減に繋げる。 ・夜間就寝後のトイレ覚醒時の場所がわからず、放尿してしまうリスクの軽減。 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・起き上がり、端座位、離床、見守りなど通知の設定が変えられるので、個別ケアも充実。 ・入居者様の転倒・転落のリスク軽減。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人昌明福社会)

事業所名 (グループホーム結)

サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		エスパシア (離床センサーCATCHⅢ搭載ベッド パラマウント株式会社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 10 月 1 日	1 台	令和元年 10 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 <ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・令和元年 10 月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで令和元年 10 月中に使用開始を図る。 			
【倫理面への配慮】 <ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に使用する経緯・使用する介護機器の説明を行いご同意を頂いてから使用する。 			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) <ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況(起き上がり、端座位、離床、見守り)の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。転倒・転落の事故リスクの軽減に繋げる。 ・夜間就寝後のトイレ覚醒時の場所がわからず、放尿してしまうリスクの軽減。 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・起き上がり、端座位、離床、見守りなど通知の設定が変更されるので、個別ケアも充実。 ・入居者様の転倒・転落のリスク軽減。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 光楽苑)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
令和元年9月1日	3台	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	
【事業概要及び導入スケジュール】 【事業概要】 入居者様の情報をリアルタイムで把握することで、入居者様の個々の状態に応じた対応が可能となる。入居者様の生活リズムの把握、ベッドからの転倒や転落事故の減少や介護スタッフの夜間等の見守り業務の負担軽減を図ることができる。 【導入スケジュール】 交付決定後、速やかに導入 (令和元年9月導入予定) 以降も使用状況の確認を行い、研修等の実施を含め、適正な運用を図る。				
【倫理面への配慮】 入居者様、ご家族への使用目的の説明を行い、同意を得る。 また得られたデータや情報は個人情報として取扱に注意する。				
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) <ul style="list-style-type: none"> ● 適切なタイミングでのケアを行うことで、転倒や転落などの事故の軽減を図る。 ● 見守り業務の効率化を図り、介護職員の心理的、精神的な負担を軽減する。 				
【介護ロボット導入により期待される効果等】 <ul style="list-style-type: none"> ● 入居者様の状態をリアルタイムで把握することができるため、事故防止だけでなく、体調の変化にも速く気付くことができる。(看取り時期等でも呼吸数や心拍数の変化が可視化できるため、早めに状態の変化に気付き、対応することが可能。) ● ご家族への報告等に活用することで、利用中の様子を知ることができ、安心感や透明化を図ることができる。 ● 夜間帯に入居者様の状況に応じて巡視や排泄介助のタイミングを合わせることで、入居者様の穏やかな生活の確保。またそれに伴って職員の負担の軽減が図れる。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (ショートステイ 光楽苑)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	1台	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 【事業概要】 利用者様の情報をリアルタイムで把握することで、利用者様の個々の状態に応じた対応が可能となる。利用者様の生活リズムの把握、ベッドからの転倒や転落事故の減少や介護スタッフの夜間等の見守り業務の負担軽減を図ることができる。 【導入スケジュール】 交付決定後、速やかに導入（令和元年9月導入予定） 以降も使用状況の確認を行い、研修等の実施を含め、適正な運用を図る。			
【倫理面への配慮】 利用者様、ご家族への使用目的の説明を行い、同意を得る。 また得られたデータや情報は個人情報として取扱に注意する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処） <ul style="list-style-type: none"> ● 適切なタイミングでのケアを行うことで、転倒や転落などの事故の軽減を図る。 ● 見守り業務の効率化を図り、介護職員の心理的、精神的な負担を軽減する。 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者様の状態をリアルタイムで把握することができるため、事故防止だけでなく、体調の変化にも速く気付くことができる。 ● ご家族への報告等に活用することで、利用中の様子を知ることができ、安心感や透明化を図ることができる。 ● 夜間帯に利用者様の状況に応じて巡視や排泄介助のタイミングを合わせることで、入居者様の穏やかな生活の確保。またそれに伴って職員の負担の軽減が図れる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 百華苑)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
令和元年9月1日	3台	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 入居者様の情報をリアルタイムで把握することで、入居者様の個々の状態に応じた対応が可能となる。入居者様の生活リズムの把握、ベッドからの転倒や転落事故の減少や介護スタッフの夜間等の見守り業務の負担軽減を図ることができる。</p> <p>【導入スケジュール】 交付決定後、速やかに導入 (令和元年9月導入予定) 以降も使用状況の確認を行い、研修等の実施を含め、適正な運用を図る。</p>				
<p>【倫理面への配慮】 入居者様、ご家族への使用目的の説明を行い、同意を得る。 また得られたデータや情報は個人情報として取扱に注意する。</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 適切なタイミングでのケアを行うことで、転倒や転落などの事故の軽減を図る。 ● 見守り業務の効率化を図り、介護職員の心理的、精神的な負担を軽減する。 				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入居者様の状態をリアルタイムで把握することができるため、事故防止だけでなく、体調の変化にも速く気付くことができる。(看取り時期等でも呼吸数や心拍数の変化が可視化できるため、早めに状態の変化に気付き、対応することが可能。) ● ご家族への報告等に活用することで、利用中の様子を知ることができ、安心感や透明化を図ることができる。 ● 夜間帯に入居者様の状況に応じて巡視や排泄介助のタイミングを合わせることで、入居者様の穏やかな生活の確保。またそれに伴って職員の負担の軽減が図れる。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (ショートステイ 百華苑)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	1台	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 利用者様の情報をリアルタイムで把握することで、利用者様の個々の状態に応じた対応が可能となる。利用者様の生活リズムの把握、ベッドからの転倒や転落事故の減少や介護スタッフの夜間等の見守り業務の負担軽減を図ることができる。</p> <p>【導入スケジュール】 交付決定後、速やかに導入（令和元年9月導入予定） 以降も使用状況の確認を行い、研修等の実施を含め、適正な運用を図る。</p>			
<p>【倫理面への配慮】 利用者様、ご家族への使用目的の説明を行い、同意を得る。 また得られたデータや情報は個人情報として取扱に注意する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 適切なタイミングでのケアを行うことで、転倒や転落などの事故の軽減を図る。 ● 見守り業務の効率化を図り、介護職員の心理的、精神的な負担を軽減する。 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者様の状態をリアルタイムで把握することができるため、事故防止だけでなく、体調の変化にも速く気付くことができる。 ● ご家族への報告等に活用することで、利用中の様子を知ることができ、安心感や透明化を図ることができる。 ● 夜間帯に利用者様の状況に応じて巡視や排泄介助のタイミングを合わせることで、入居者様の穏やかな生活の確保。またそれに伴って職員の負担の軽減が図れる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人みどりの里)
 事業所名 (特別養護老人ホーム笑いの家)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9 月 1 日	6 台	令和元年 9 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>利用者様の睡眠リズムを把握することで、個々のリズムに合わせた排せつ介助による安眠時間の確保、半覚醒状態による転倒リスクの軽減を図る。これにより不要な排泄介助や転倒リスクを軽減することができ、職員の業務負担の軽減を図ることができる。</p> <p>交付決定後、発注・導入を行い、機器使用に関する勉強会を開催する(9月上旬)。9月中旬までに使用対象者の選定と対象者への説明および同意を得る。9月下旬より運用を開始する。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>当該システムの使用目的、効果、安全性、データの活用範囲等について対象入所者及びそのご家族へ説明を行い、同意を得た上で使用を開始する。また、取得情報については厳重に管理する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>入所者の状況(睡眠や動作、呼吸状態等のバイタルなどの変化)をリアルタイムで把握することにより、転倒転落等の事故予防や異常時の対応体制の強化を図る。特に、夜間の介護従事者の心理的・身体的な業務負担を軽減することを目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所者の就寝時の転倒、転落等の事故予防。徘徊予防及び、夜間行動の把握。 ・入所者の睡眠パターンの把握と、排泄介助の適正化による入所者の安眠時間の増加。 ・睡眠パターンの把握による、夜間の巡視やオムツ交換の効率化。 ・呼吸リズムの把握による、通常期(ターミナル期)の体調変化の早期発見と対応。 ・介護職員の精神的、心理的、身体的な負担の軽減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社碧介護サービス)
 事業所名 (介護付有料老人ホームみどりの家)
 サービス種別 (地域密着型特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り介護ロボット aams	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9 月 1 日	3 台	令和元年 9 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 「aams」の導入により、見守り業務（特に夜間帯）の効率化と看護・介護職員の業務負担軽減を図る。</p> <p>【導入スケジュール】 補助金交付決定後、速やかに発注導入を行い、職員に向けた使用説明会を実施する。 令和元年 9 月 1 日より運用開始予定。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入居者様及びご家族様へ機能と使用目的の説明を行い、ご理解をいただいた上で適切に使用する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護・介護職員の身体的、精神的負担の軽減。 ・ナースコール等利用できない方への事故予防。 ・看取り対応時のバイタル等の把握を迅速に行い、ご家族様への情報提供に繋げる。 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護・介護職員の見守り業務の負担軽減。 ・入居者様の転倒、転落のリスクの軽減。 ・生活リズムの把握による睡眠の質の向上。 ・看取り対応時の早期バイタル把握（レベル低下や呼吸停止等） 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人東海)
 事業所名 (特別養護老人ホーム東海の里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援機器		Neos+Care ネオスケア	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月30日	10台	令和元年9月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

事業概要 「Neos+Care」の導入により、見守り業務の効率化を図り、介護職員の夜間業務の負担軽減を図ります。入所者のベッド上での動きを把握することが出来る機能を十分に活用し、転倒転落事故の防止に努め、見守り業務の効率化をすることで、介護職員の業務負担軽減を図るもの。これにより、業務の充実を図ることで介護職員の定着、離職率の低下及び新規職員の採用増加を目指します。

導入スケジュール 令和元年6月申請、令和元年8月ネットワーク環境工事、令和元年8月承認、令和元年9月導入及び使用説明会実施、運用開始、随時フォローアップ研修を実施。

【倫理面への配慮】

入所者様及び家族に対して、ロボットの機能と性能の説明を行い、施設生活におけるメリットとデメリットについて理解を得るものとする。

職員に対して、ロボット導入前に、機能などの説明と倫理に関する研修を行う。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）

Neos+Careの介護職員が携帯するモバイル端末への通知機能により、ベッドからの離床、起居、離脱などの利用者様の状態を介護職員がいち早く確認することができるため、見守り業務の効率化を図ることができるようになる。

少ない人数で対応する夜間帯を中心に、特に転倒リスクの高い入所者様の状況の把握、見守りをすることが可能となることで、ベッド臥床時からの転倒及び転落事故の発生を軽減させるとともに、介護従事者の身体的及び精神的負担の軽減を目指します。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

ロボットの利用者の状況の録画機能を活用することで、事故発生時の原因分析を行い再発防止のための対策を立てるために役立つと期待される。

ロボット活用により、見守り等の介護業務の効率化を図ることで、介護従事者の業務負担軽減ができること、また、利用者様の安全な環境を整備し、生活リズムを整え、安心して充実した施設生活を過ごしていただくことで、介護従事者がやりがいを持ち、介護職への定着の促進と離職率の低下を図れることが期待される。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (有限会社みずのなか)
 事業所名 (グループホームあまのあ)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		aams / アアムス		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
令和元年9月1日	1台	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	
【事業概要及び導入スケジュール】				
<ul style="list-style-type: none"> 当該補助金決定後、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 令和元年7月中旬に導入機器の使用に関する研修会を開催し、使用方法や使用目的の周知徹底を行い、とうとう令和元年9月1日より使用開始を図る。 				
【倫理面への配慮】				
<ul style="list-style-type: none"> 使用予定入居者様及びご家族様へ使用の経緯・使用の介護機器の説明を行い同意をいただいたから使用を行う。 				
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)				
<ul style="list-style-type: none"> 入居者様の状況(睡眠・覚醒・起居・離床等)の把握を行い、個別のリズムに合わせたケアの実践を計っていく。転倒・転落の事故リスクの軽減に繋げる。 看取りケア時のバイタル把握を行い、ご家族様への情報連絡へ繋げる。 				
【介護ロボット導入により期待される効果等】				
<ul style="list-style-type: none"> 睡眠・覚醒のリズムを把握することによる個別ケアの充実 入居者様の転倒・転落のリスク軽減。 介護職員の見守り業務の負担軽減。 看取り期の早期バイタル把握。(レベル1以下や呼吸停止等) 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 来光会)

事業所名 (介護老人福祉施設いわと)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズ 超低床ベッド KA - N1470F	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9 月 30 日	1 台	令和元年 9 月 30 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>ベッド内蔵型離床センサー、離床CATCHⅢ搭載ベッド「エスパシアシリーズ・超低床ベッド」を導入し、特に夜間ベッドからのずり落ち、転落の多い入居者に使用し、夜間帯の入居者の方の転落・転倒事故防止と見守りの効率化を図る。また、超低床ベッドであることにより万が一ベッドから転落した時のケガの防止につなげていきたい。</p> <p>令和元年 6 月申請 令和元年 11 月導入予定</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入居者本人及びそのご家族へシステム使用についての説明と同意を得た上で使用する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>ベッドからの転落・転倒事故の減少 職員の身体的・精神的負担の軽減</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>離床CATCHⅢは、利用する入居者の状態に合わせた通知タイミング(起き上がり、端座位、離床)が設定できるため、その方に合わせたより正確なナースコールによる呼び出しが可能になるため転倒・転落防止の効果が期待できる。また超低床ベッドであるため万が一ベッドから転落してもケガの防止につなげることができる。</p> <p>又、入居者の状態に合わせてナースコールが設定できるので、頻回なナースコールや誤コールなどが軽減でき、介護職員の身体的・精神的負担の軽減が期待できる。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 昭徳会)

事業所名 (特別養護老人ホーム小原安立)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護業務支援 (見守り)		見守りライフ	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	8	リース契約 令和元年9月1日	令和元年9月1日から 令和4年8月31日まで
<p>○ 【事業概要 及び導入スケジュール】</p> <p>センサーにより利用者の起床・離床・体位変更を把握することにより、転倒等のリスクを低減し、特に夜勤時間帯の介護職員の肉体的および精神的な負担を軽減する。</p> <p>令和元年9月に導入予定</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>サービス利用者等に対して介護ロボットを活用したサービスを提供する際は、事前に十分な説明を行い、同意を得た上で実施する。</p>			
<p>○ 【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>介護業務の負担軽減による離職率の低下を目指す。またセンサーを用いた利用者の状況把握による転倒等の事故を防止する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の転倒等の事故防止。 ・利用者の睡眠リズム把握によるサービスの向上。 ・職員の負担軽減による傷病休職や離職の低減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (セキスイオアシス株式会社)

事業所名 (オアシスセンター)

サービス種別 (小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		センシングウェーブ (凸版印刷社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月15日	2	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 小規模多機能の夜間帯を中心に睡眠、覚醒、離床を感知し、夜勤者の負担を軽減すると共に、睡眠の質を測ることにより、利用者様の健康と自立支援に繋げる。</p> <p>【導入スケジュール】 令和元年9月1日 購入。現場研修。 令和元年9月15日 導入開始。 2ヶ月毎の現場ミーティングにて、効果測定。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>使用前に利用者様及びご家族様に使用目的と効果について十分な説明をした上で使用を開始する。また得られたデータの取り扱い、管理については厳重に注意する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>利用者様の睡眠の質の向上に向けた環境整備、生活習慣の改善。 夜間の利用者様への巡視回数の削減、介護業務の負担軽減。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・覚醒、離床へのタイムリーな対応による転倒リスクの削減。 ・生活リズムの把握による、ケアの充実。 ・配置数の少ない夜間帯における職員の身体的、精神的な負担の軽減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名（ 社会福祉法人 春生会 ）
 事業所名（ 特別養護老人ホーム あさひが丘 ）
 サービス種別（ 介護老人福祉施設 ）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りライフ	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年10月20日	10	令和元年10月1日	令和元年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減する。 2019年10月頃：購入、10月上旬：使用説明会、10月下旬：使用開始 導入3ヶ月後：フォローアップ講習会 毎月、事故対策委員会及び部門間会議にて経過報告する</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入居者様もしくはご家族様にシステムの使用目的について説明し、書面にて同意を得た上で導入する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <p>入居者様の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで見守り業務を実施できるようにする。 加えて、入居者様1人1人の生活リズムを把握することで、特に夜間介護従事者の業務負担を軽減することを目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>入居者様の睡眠の深さや覚醒状態を把握できるため、これまで介護職員の経験値や予測のもとに行っていた介護的アプローチが、データに基づくアプローチとなる。これにより、入居者様の不安定な睡眠状態への対応をケアプランから見直すことができ、生活リズムを把握できることで、特に認知症高齢者のBPSD軽減に繋がることを期待したい。 加えて、介護職員の夜間巡回業務における、肉体的・精神的負担の軽減が期待される。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名（ 社会福祉法人 春生会 ）

事業所名（ ショートステイ しょうなあさひが丘 ）

サービス種別（ 短期入所生活介護 ）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りライフ	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 10 月 20 日	1	令和元年 10 月 1 日	令和元年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減する。 2019年 10月頃：購入、10月上旬：使用説明会、10月下旬：使用開始 導入3ヶ月後：フォローアップ講習会 毎月、事故対策委員会及び部門間会議にて経過報告する</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>利用者様もしくはご家族様にシステムの使用目的について説明し、書面にて同意を得た上で導入する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <p>利用者様の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで見守り業務を実施できるようにする。 加えて、利用者様1人1人の生活リズムを把握することで、特に夜間介護従事者の業務負担を軽減することを目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>利用者様の睡眠の深さや覚醒状態を把握できるため、これまで介護職員の経験値や予測のもとに行っていた介護的アプローチが、データに基づくアプローチとなる。これにより、利用者様の不安定な睡眠状態への対応をケアプランから見直すことができ、生活リズムを把握できることで、特に認知症高齢者のBPSD軽減に繋がることを期待したい。 加えて、介護職員の夜間巡回業務における、肉体的・精神的負担の軽減が期待される。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 春生会)

事業所名 (特別養護老人ホーム しょうなあさひが丘)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りライフ	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 10 月 20 日	10	令和元年 10 月 1 日	令和元年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減する。 2019 年 10 月頃：購入、10 月上旬：使用説明会、10 月下旬：使用開始 導入 3 ヶ月後：フォローアップ講習会 毎月、事故対策委員会及び部門間会議にて経過報告する</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入居者様もしくはご家族様にシステムの使用目的について説明し、書面にて同意を得た上で導入する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3 年間目処)</p> <p>入居者様の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで見守り業務を実施できるようにする。 加えて、入居者様 1 人 1 人の生活リズムを把握することで、特に夜間介護従事者の業務負担を軽減することを目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>入居者様の睡眠の深さや覚醒状態を把握できるため、これまで介護職員の経験値や予測のもとに行っていた介護的アプローチが、データに基づくアプローチとなる。これにより、入居者様の不安定な睡眠状態への対応をケアプランから見直すことができ、生活リズムを把握できることで、特に認知症高齢者の BPSD 軽減に繋がることを期待したい。 加えて、介護職員の夜間巡回業務における、肉体的・精神的負担の軽減が期待される。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名（ 社会福祉法人 春生会 ）

事業所名（ ショートステイ あさひが丘 ）

サービス種別（ 短期入所生活介護 ）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りライフ	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年10月20日	1	令和元年10月1日	令和元年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減する。 2019年10月頃：購入、10月上旬：使用説明会、10月下旬：使用開始 導入3ヶ月後：フォローアップ講習会 毎月、事故対策委員会及び部門間会議にて経過報告する</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>利用者様もしくはご家族様にシステムの使用目的について説明し、書面にて同意を得た上で導入する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <p>利用者様の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで見守り業務を実施できるようにする。 加えて、利用者様1人1人の生活リズムを把握することで、特に夜間介護従事者の業務負担を軽減することを目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>利用者様の睡眠の深さや覚醒状態を把握できるため、これまで介護職員の経験値や予測のもとに行っていた介護的アプローチが、データに基づくアプローチとなる。これにより、利用者様の不安定な睡眠状態への対応をケアプランから見直すことができ、生活リズムを把握できることで、特に認知症高齢者のBPSD軽減に繋がることを期待したい。 加えて、介護職員の夜間巡回業務における、肉体的・精神的負担の軽減が期待される。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームコムネックスみづほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		次世代予測型見守りシステム Neos+Care (ネオスケア)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年10月1日	4台	令和1年9月20日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>新たな見守り支援ロボットの導入により、業務の効率化を図り、介護従事者の負担軽減する。2019年10月頃導入、使用勉強会8月下旬、使用開始9月中旬、毎月のICT委員会にて経過報告。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入所者もしくは家族にシステムの使用目的について説明し、書面にて同意を得た上で導入。取得した情報は厳重に管理する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>身体状況、認知状況等によりナースコール発信出来ない入所者の必要サインにリンクした設定(起き上がり、端座位、離床、入室、退室等)で見守り支援を行うことにより、不必要な訪室の削減、事故のリスク軽減、データチェックによる要因分析、より入所者の身体状況に合わせたケアの実現を可能にする。入居者本来の能力の把握・要因対策・立案を行い、入居者の睡眠状況が改善することで、特に夜間介護従事者の業務負担軽減を目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体状況、認知状況に合わせたサイン対応による転落、転倒事故のリスク軽減。 ・事故発生時の状況をデータチェックすることで事故要因を把握しケアプランに活かす。家族への説明時にも活用し安心へ繋げる。 ・不必要な訪室削減により入居者の睡眠状態を改善。他見守り支援ロボットで睡眠状態をデータ分析し記録システムと連携することで夜間巡回業務における肉体的・精神的負担を軽減。 ・生体異常探知システムにより看取り期の入居者の状態をリアルタイムで把握。介護従事者の精神的不安軽減。 ・記録システムと連携することで記録時間の削減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (コムネックスみづほショートステイ事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月10日	2	令和元年9月10日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減する。 2019年9月頃：購入、9月上旬：使用説明会、9月中旬：使用開始 導入3ヶ月後：フォローアップ講習会 毎月サービス向上員会にて経過報告</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入所者様もしくはご利用者にシステムの使用目的について説明し同意を得た上で導入する。 取得した情報は厳重に管理する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>ご利用者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化する事で見守り業務を見える化する。科学的根拠に基づいた問題の把握・立案を行い、日常の生活リズムをつくることで、特に夜間介護従事者の業務負担を軽減する事を目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>ご利用者の睡眠の深さや覚醒状態を端末で把握できるため、これまでのスタッフの経験値や予測のもとに行っていた介護アプローチが、科学的なデータに基づくアプローチとなる。これにより、不安定な睡眠状態のご利用者の覚醒時間への対応を見直し、生活リズムを作る事で、認知症高齢者の問題行動の軽減に繋がる。また、夜間巡回業務における、肉体的・身体的負担の軽減が期待される。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (コムネックスみづほ特定施設事業所)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9 月 10 日	2	令和元年 9 月 10 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減する。 2019 年 9 月頃：購入、9 月上旬：使用説明会、9 月中旬：使用開始 導入 3 ヶ月後：フォローアップ講習会 毎月サービス向上員会にて経過報告</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入所者様もしくはご利用者にシステムの使用目的について説明し同意を得た上で導入する。 取得した情報は厳重に管理する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3 年間目処)</p> <p>ご利用者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化する事で見守り業務を見える化する。科学的根拠に基づいた問題の把握・立案を行い、日常の生活リズムをつくることで、特に夜間介護従事者の業務負担を軽減する事を目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>ご利用者の睡眠の深さや覚醒状態を端末で把握できるため、これまでのスタッフの経験値や予測のもとに行っていた介護アプローチが、科学的なデータに基づくアプローチとなる。これにより、不安定な睡眠状態のご利用者の覚醒時間への対応を見直し、生活リズムを作る事で、認知症高齢者の問題行動の軽減に繋がる。また、夜間巡回業務における、肉体的・身体的負担の軽減が期待される。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームアルメゾンみづほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		次世代予測型見守りシステム Neos+Care (ネオスケア)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年10月1日	10台	令和1年9月20日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
<p>新たな見守り支援ロボットの導入により、業務の効率化を図り、介護従事者の負担軽減する。2019年10月頃導入、使用勉強会8月下旬、使用開始9月中旬、毎月のICT委員会にて経過報告。</p>			
【倫理面への配慮】			
<p>入所者もしくは家族にシステムの使用目的について説明し、書面にて同意を得た上で導入。取得した情報は厳重に管理する。</p>			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)			
<p>身体状況、認知状況等によりナースコール発信出来ない入所者の必要サインにリンクした設定(起き上がり、端座位、離床、入室、退室等)で見守り支援を行うことにより、不必要な訪室の削減、事故のリスク軽減、データチェックによる要因分析、より入所者の身体状況に合わせたケアの実現を可能にする。入居者本来の能力の把握・要因対策・立案を行い、入居者の睡眠状況が改善することで、特に夜間介護従事者の業務負担軽減を目標とする。</p>			
【介護ロボット導入により期待される効果等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・身体状況、認知状況に合わせたサイン対応による転落、転倒事故のリスク軽減。 ・事故発生時の状況をデータチェックすることで事故要因を把握しケアプランに活かす。家族への説明時にも活用し安心へ繋げる。 ・不必要な訪室削減により入居者の睡眠状態を改善。他見守り支援ロボットで睡眠状態をデータ分析し記録システムと連携することで夜間巡回業務における肉体的・精神的負担を軽減。 ・生体異常探知システムにより看取り期の入居者の状態をリアルタイムで把握。介護従事者の精神的不安軽減。 ・記録システムと連携することで記録時間の削減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (アルメゾンみづほショートステイ事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		次世代予測型見守りシステム Neos+Care (ネオスケア)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年10月1日	1台	令和1年9月20日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
<p>新たな見守り支援ロボットの導入により、業務の効率化を図り、介護従事者の負担軽減する。2019年10月頃導入、使用勉強会8月下旬、使用開始9月中旬、毎月のICT委員会にて経過報告。</p>			
【倫理面への配慮】			
<p>利用者もしくは家族にシステムの使用目的について説明し、書面にて同意を得た上で導入。取得した情報は厳重に管理する。</p>			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)			
<p>身体状況、認知状況等によりナースコール発信出来ない入所者の必要サインにリンクした設定(起き上がり、端座位、離床、入室、退室等)で見守り支援を行うことにより、不必要な訪室の削減、事故のリスク軽減、データチェックによる要因分析、より利用者の身体状況に合わせたケアの実現を可能にする。利用者本来の能力の把握・要因対策・立案を行い、利用者の睡眠状況が改善することで、特に夜間介護従事者の業務負担軽減を目標とする。</p>			
【介護ロボット導入により期待される効果等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・身体状況、認知状況に合わせたサイン対応による転落、転倒事故のリスク軽減。 ・事故発生時の状況をデータチェックすることで事故要因を把握しケアプランに活かす。家族への説明時にも活用し安心へ繋げる。 ・不必要な訪室削減により入居者の睡眠状態を改善。他見守り支援ロボットで睡眠状態をデータ分析し、記録システムと連携することで夜間巡回業務における肉体的・精神的負担を軽減。 ・記録システムと連携することで記録時間の削減。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (デイパーク大府短期入所事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M2 FBR-N132	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月30日	2	令和 元年9月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要</p> <p>ご利用者を安全に、又本人に知られる事なく見守れる事が可能なシステムを導入する事で、ベットからの転倒・転落事故防止を行う事を目標といたします。誰もが簡単に操作/セッティング可能なシステムを導入する事で危器を必要な方に対して、誰もがきちんと使い機器設定の手間を省き不必要な見回りを減らし介護労力の削減を目指します。</p> <p>導入スケジュール</p> <p>当該助成金の採択後、諸手続きを経て導入を図り、使用対象者に説明をし使用を開始していきます。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>ご利用者に対しては、通常の電動ベットと全く同等品として取り扱って頂く事が可能となります。(当該センサーを導入する事でご利用者本人への身体的/精神的拘束感を与える事はありません。)</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転倒転落事故の減少 ②センサー誤報によるかけ付けを減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①ご利用者の転倒・転落事故の削減ができる。 ②従来型のマットセンサーを活用し続ける介護労力を削減できる。 ③誤報が少ないセンサーを採用する事で無駄なかけ付けを減少させ介護労力の削減を図る。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知慈恵会)
 事業所名 (一宮市萩の里特別養護老人ホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズベッド (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月30日	5台	令和元年9月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 【事業概要】 離床CATCHⅢ内蔵のベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯におけるご利用者の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。 【導入スケジュール】 令和元年6月申請 令和元年9月導入 (予定)			
【倫理面への配慮】 ご利用者及びご家族に対し本システム使用目的について説明し同意をいただく。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ①転倒・転落事故の予防及び減少 ②介護職員の身体的・心的負担の軽減			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ①ご利用者の状態に応じたセンサー設定 (起き上がり・端座位・離床) が可能になり、より正確なナースコールが期待できることから、転倒・転落事故の予防につながる。 ②介護員の対応が必要と考えられる場合にナースコールが鳴る仕組みであり、介護員の身体的・心理的負担 (ストレス) の軽減が期待できる。			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人 鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくら大樹)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年9月15日	10台	令和1年9月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>当機器の導入にて、夜間帯の見守り業務の効率化、設置利用者の睡眠行動の把握を行い、職員の心理的・身体的負担軽減を図る。</p> <p>導入スケジュール 令和1年6月申請、8月中旬から下旬にて利用者等に説明、9月導入予定</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明し同意を得る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>利用者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、一人ひとりの睡眠リズムを把握する。科学的根拠に基づいた問題の把握、それに対する対策及び計画の立案を行う。また、職員の心理的・身体的負担の軽減を目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の睡眠リズムの把握 ・夜間時の睡眠、覚醒時間を把握し生活リズムを整える ・転倒や転落リスクの軽減 ・職員の心理的、身体的負担軽減 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人 鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくらの里)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年9月15日	13台	令和1年9月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

当機器の導入にて、夜間帯の見守り業務の効率化、設置利用者の睡眠行動の把握を行い、職員の心理的・身体的負担軽減を図る。

導入スケジュール

令和1年6月申請、8月中旬から下旬にて利用者等に説明、9月導入予定

【倫理面への配慮】

機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明し同意を得る。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

利用者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、一人ひとりの睡眠リズムを把握する。科学的根拠に基づいた問題の把握、それに対する対策及び計画の立案を行う。また、職員の心理的・身体的負担の軽減を目標とする。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・利用者様の睡眠リズムの把握
- ・夜間時の睡眠、覚醒時間を把握し生活リズムを整える
- ・転倒や転落リスクの軽減
- ・職員の心理的、身体的負担軽減

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (さくら福祉事業会)

事業所名 (特別養護老人ホームさくらレジデンス)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和1年9月15日	3台	令和1年9月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>当機器の導入にて、夜間帯の見守り業務の効率化、設置利用者の睡眠行動の把握を行い、職員の心理的・身体的負担軽減を図る。</p> <p>導入スケジュール 令和1年6月申請、8月中旬から下旬にて利用者等に説明、9月導入予定</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明し同意を得る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>利用者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、一人ひとりの睡眠リズムを把握する。科学的根拠に基づいた問題の把握、それに対する対策及び計画の立案を行う。また、職員の心理的・身体的負担の軽減を目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の睡眠リズムの把握 ・夜間時の睡眠、覚醒時間を把握し生活リズムを整える ・転倒や転落リスクの軽減 ・職員の心理的、身体的負担軽減 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 長寿会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム シルバーピアかりや)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		眠り SCAN (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月20日	6	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 【事業概要】 「眠り SCAN」導入により、主に夜間帯の見守り業務（特に夜間の覚醒・睡眠・起居・離床）の効率化と介護従事者の業務負担軽減を図ります。 【導入スケジュール】 当該助成金の採択後、諾手続きを経て、導入を図り、使用対象者に説明をし、使用を開始していきます。			
【倫理面への配慮】 入所者、家族に対し見守り支援システム使用について、目的や効果等に関する説明を行い、同意を得たうえで使用します。 取得した情報については厳重に管理します。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) 入居者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで見守り業務の見える化を図ります。また、科学的根拠に基づいた問題の把握・立案を行い、日常の生活リズムを作ることで、特に夜間介護従事者の業務負担を軽減することを目標とします。			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 入所者の就寝時の転倒、転落等の事故予防や俳個予防、夜間行動、バイタルや睡眠状況の把握し、ケアプランの見直しや機能向上や回復効果に繋がる生活リズムの作成を図ります。 夜間の見守り時も介護従事者の精神的・心理的・身体的な負担の軽減に期待されます。			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 長寿会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム シルバーピアみどり苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設【従来型】)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		眠り SCAN (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月20日	8	令和元年9月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 「眠り SCAN」導入により、主に夜間帯の見守り業務（特に夜間の覚醒・睡眠・起居・離床）の効率化と介護従事者の業務負担軽減を図ります。</p> <p>【導入スケジュール】 当該助成金の採択後、諾手続きを経て、導入を図り、使用対象者に説明をし、使用を開始していきます。</p>			
<p>【倫理面への配慮】 入所者、家族に対し見守り支援システム使用について、目的や効果等に関する説明を行い、同意を得たうえで使用します。 取得した情報については厳重に管理します。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) 入居者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで見守り業務の見える化を図ります。また、科学的根拠に基づいた問題の把握・立案を行い、日常の生活リズムを作ることで、特に夜間介護従事者の業務負担を軽減することを目標とします。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】 入所者の就寝時の転倒、転落等の事故予防や俳個予防、夜間行動、バイタルや睡眠状況の把握し、ケアプランの見直しや機能向上や回復効果に繋がる生活リズムの作成を図ります。 夜間の見守り時も介護従事者の精神的・心理的・身体的な負担の軽減に期待されます。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 清明福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 建国ビハーク)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステム M-2	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年 9 月 1 日	2 台	令和元年 9 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>「見守りケアシステムM-2」を導入する事で御利用者の動きを検知し、ベッドからの転倒、転落予防に努めると共に見守り業務の補助、効率化を図り、業務負担の軽減を図ります。</p> <p>【導入スケジュール】</p> <p>令和元年 9 月 機器導入 令和元年 9 月 機器使用方法 説明会 実施 以降、各年度毎に使用状況を報告 適宜、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>通常のベッドと全く同等品として取り扱う事が可能です。センサーベッドを導入する事で、御利用者本人への身体的、精神的拘束感を与える事はありません。</p> <p>御利用者及び御家族に対し、見守りベッドの導入、システム等に対して説明を行い、同意を得た上で、使用を行います。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転倒、転落事故の減少。 ②ナースコール等を利用できない方への事故予防。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①転倒、転落事故の防止や減少。 ②生活リズムの把握により、個別ケアの充実を図る。 ③誤報が少ないセンサーを使用する事で、介護労働力の削減を図り、介護負担の軽減を図る。 ④配置人員が減少する時間帯等で職員の精神的、身体的ストレスの軽減を図る。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 観寿々会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム ヴェルバレー)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りシステムネオスケア	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和元年9月1日	1	令和 年 月 日	令和元年9月1日から 令和4年8月31日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>(事業概要)</p> <p>利用者の居室内での転倒・転落事故を予防し、安心、安全な生活を送っていただけるようにケアプランに位置づけをしてゆく。また、職員が利用者の行動を把握し、業務の効率・不要な訪室をなくし、安心してケアができるように職場の環境の改善にもつながる。</p> <p>(導入スケジュール)</p> <p>令和元年6月 申請 令和元年8月 導入に向けた使用説明会 令和元年9月 導入開始 フォローアップ研修</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>利用者・家族に対して、機器の性能・導入に際しての注意事項の説明をし、同意いただいた方より順次使用してゆく。個人情報として映像は記録されるが、シルエット映像であるため、特定されにくい点もしっかりと説明をしてゆく。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>利用者個々の状態に合わせ、アセスメントして、必要な方のピックアップができ、利用者への説明と安全な使用ができるようにする。</p> <p>利用者の居室内の生活動作で、不安定な立ち上がり、起居動作をする時間帯がデーターとして残るため、先回りしたケアの提供ができるようになる。</p> <p>機器を導入することでの業務の効率化・軽減を図り、働き方の改革につなげる。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己動作での転倒・転落事故の減少により、利用者、職員の身体的負担の軽減ができる。 転倒事故等の詳細が記録するため、発生時の状況が的確に伝えられ、早期対応ができる。 職員の身体的・精神的負担の軽減 生活パターンの把握により、ケアの必要の優先順位がつけられ、安心できる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。